

中栄  
信金子ども未来応援プロジェクトの  
取り組みとフードドライブ

「地域貢献(寄付型)定期預金」×「フードドライブ」

中栄信用金庫 業務部副部長 原田 和彦

中栄信用金庫（本店：神奈川県秦野市／理事長：北村圭一）では、地域の子どもたちを取り巻く社会問題に対する課題解決を図るため、令和3年7月1日より未来輝く子供たちの健全な育成と成長を応援することを目的とした「子どもの未来応援プロジェクト」を始動させました。

これはコロナ禍でより一層深刻化する子どもの貧困対策支援として「地域貢献(寄付型)定期預金」の預金商品販売と「フードバンク支援活動(フードドライブの実施)」を実施するものです。

「地域貢献(寄付型)定期預金」は、お客様よりお預け入れいただいた定期預金残高の0.01%相当額（上限100万円）を当金庫が拠出（お客様のご負担はありません）し、公募により申請（「公益社団法人フードバンクかながわ」様への「利用団体登録申請書」の提出も条件とし、同法人の活動に係る啓蒙活動も兼ねています）していただいた地元の「こども食堂」に寄付を行います（対象地域は下記）。

また「フードドライブ」では、当金庫全店舗（16店舗）に専用の回収ボックスを設置し家庭や企業で眠っている余剰食材や防災備蓄品などの寄付を呼び掛けております。

これら一連の活動を通じて、地域が一丸となった持続可能な社会の実現を目指して行きたいと考えています。

こども食堂寄付対象地域：秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、南足柄市、開成町、中井町

神奈川県SDGsアクションでコロナ禍での社会的課題を解決で横浜銀行と中栄信金の取り組みが紹介されています。



[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs\\_action/2021.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/sdgs_action/2021.html)

寄稿

来店型  
フードバンク来店型フードバンク  
くろーばーマーケット

NPO法人さくらんぼ 担当理事 伊藤 保子

NPO法人さくらんぼは、生活課題を抱える人が多く住むといわれている横浜市瀬谷区に拠点を置き、保育、地域子育て支援事業を行っている法人です。

本年、保育・支援の2事業に加えて地域とともに生きていくために必要な、制度外の取り組みを行う共生事業部を立ち上げました。共生事業部は居住支援と食支援の2本柱で構成されています。食支援の柱が「くろーばーマーケット」です。



(スタッフの皆さん)

「くろーばーマーケット」は子育て層に特化した「お福分けの会」の活動の中からその視点が生まれました。お福分けの会は18歳以下の子育て中の生活困窮者を対象としていますが、コロナ感染はひとり暮らしの学生、高齢者、仕事を失ってしまった方など、お福分けの会の対象層以外にも大きな影響を与えています。そこで地域で暮らす生活困窮者に対象をひろげ、欲しいものを持って帰る来店型「0円マーケット」を開店しました。幸運の兆しといわれる四つ葉のクローバーを多くの方々に届けたいとの思いから名付けました。これまでは箱詰めしてお渡ししていた食料でしたが、ここでは世帯構成や嗜好など自分の意思で選んで帰っていただいています。できれば毎日開きたいところですが、まずは週2日の開催からスタートしました。



6月7日からの登録会員は38名。平均して一日15名程度の来所者数となっています。これからの課題は冷凍品の導入と、パンなど日配品をどう確保していくかです。

地域の方々への食品提供の呼びかけ等を強化していく必要性を感じています。皆様のご支援をうけながら、受領者の視点をいれたフードバンク運営をしたいと思います。

## アンリツ労働組合募金活動 781,700円

コロナ禍で、お米一合運動とは別に寄付の呼びかけを行ったところ、職場・組合員から781,700円が寄せられました。寄付のお礼を兼ねてZoomによる学習会を実施しました。

募金  
で  
支援

## 〈はまぎん〉フードバンクかながわ応援私募債

私募債の発行を記念して、私募債発行金額の0.1%相当額を横浜銀行が公益社団法人フードバンクかながわへ寄付します。

食料品提供や食品ロスの削減に取り組む公社フードバンクかながわに取扱総額（200億円）の0.1%相当額が寄付される私募債。

COOP 2020年度は400万円がフードバンクかながわに寄付された。

## ユニセフ・平和・フードバンク 定期募金

～世界に地域につながる“継続支援”～ ご協力をお願いします

匿名個人より  
60万円が郵便  
便で。

三浦半島労協  
フードドライブ  
品寄贈(上)。鎌倉児童ホーム・葉山幸保園にクラダン提供「パイの実」を届けて頂いた(下；鎌倉児童ホーム)。



お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45

TEL 045-349-5803

発行責任：藤田 誠



(2020年度実績 寄贈 210トﾝ・提供 194トﾝ)

基本情報 2021年度の累計 (2021/6/30現在)

寄贈食品計	39.9トﾝ	提供食品計	603回	30.8トﾝ
企業・生協等	25.2トﾝ	行政・社協	147回	6.3トﾝ
フードドライブ	12.7トﾝ	地域フードバンク	110回	9.6トﾝ
寄付金購入	2.0トﾝ	こども食堂等	247回	10.6トﾝ
		支援施設等	14回	0.8トﾝ
		福祉・病院関係	85回	3.5トﾝ

5月寄贈 10.7トﾝ 提供 15.9トﾝ

6月の状況 6/1~6/30 寄贈 18.9トﾝ 提供 17.9トﾝ

寄贈 18.9トﾝ 提供 139団体、215回、17.9トﾝ

団体別	提供重量	団体別	提供団体	提供回数	提供重量
企業・生協・JA等	10.8トﾝ	行政・社協	30団体	48回	2.6トﾝ
フードドライブ	6.1トﾝ	地域のフードバンク	22団体	43回	6.1トﾝ
寄付金での購入	2.0トﾝ	こども食堂等	60団体	84回	5.4トﾝ
		自立支援施設等	3団体	5回	0.1トﾝ
		福祉・病院・外国籍関係	24団体	35回	3.7トﾝ



寄贈

事業者寄贈

紙面の関係で敬称略で報告します。

提供

㈱ミツハシライス：毎月600kgの米の寄贈。ユーコープキャンセル品、日本食研(株)；たれ・鍋スープ類2.4トﾝ、クラダシ：パイの実9,000個、帝国ホテル：クッキー、キッコーマン：ソース7,500個、プリマハム：常温ソーセージ3,200袋、メッデセオ：レトルトごはん、オーバースーズ：クラッカー3,360個、相模原市：防災用ビスケット・アルファ米、日生協クロワッサン等328kg他

○行政・社協 学生支援の相模原市632kg、ひとり親支援を継続する横浜市(委託先の横浜母子寡婦福祉会)に1トﾝ提供。通常活動では、葉山町社協221kg、平塚市社協146kg、相模原市118kgほか

○フードバンク 寿町支援のカナンキリスト教会894kg、新たに始まったくろーばーマーケット757kg、子育て支援のお福分けの会687kg、フードバンクふじさわ435kg、西湘の報徳食品支援センター325kgほか。

○こども食堂 60団体に提供。  
○外国につながる人々の支援 最近ボリビアの方も増えているブラジルsolidario横浜に2,212kg提供他。

寄付金での購入

食品需要に寄贈量が不足し、寄付金、助成金で食品購入。アンリツ労組からの寄付金で米2トﾝ購入。

フードドライブ

イトーヨーカドー常設1,072kg、ユーコープ(募金購入含)2,068kg、無印良品100kg、相鉄ローゼン161kg、クイーンズ伊勢丹39kg、川崎信金防災備蓄品809kg、横須賀市：海軍カレー2,080個、栄区役所100kg、パルシステム職員200kg、三浦半島労協97kg、個人455kg他

ボランティア

募集中。まずはお電話を。

コロナ禍で需要が寄贈を上回る

米の冷蔵倉庫はもち米だけになり(写真左上)、寄付金で米を購入(写真右上)。提供用の箱は在庫に山積み(写真下)。



クラダシより 帝国ホテルクッキー 100箱 寄贈



合意書締結団体

寄贈締結団体 174団体  
提供締結団体 235団体  
行政・社協 56団体  
市民団体 179団体  
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)

賛助会員寄付状況

団体会員181団体 618口  
618万円  
個人会員 264人1,351口  
1,351千円  
寄付  
2021年度 5,039,737円  
累計 41,224,834円

事業推進委員メッセージ

パルシステム神奈川 事業部長 遠藤 健一



〈フードドライブといえパルシステム〉を合言葉に

2019年度よりパルシステム神奈川フードドライブの取り組みがスタートしました。当初はフードドライブって何？配送時の回収は大変では？など、多くの疑問や不安の中でスタートしました。配送担当者には学習会を行ってフードドライブの仕組みや生活困窮者の現状などを丁寧に学習しました。またフードドライブの取り組みを広める企画として組合員から回収した商品を選別する体験を、夏休みの親子企画としても取り組みました。

2020年度はコロナ過のため、前年度同様の取り組みはできませんでしたが、規模を縮小してでも取り組みたいとの多くの声に基づき組合員向けのフードドライブを実施しています。

2021年度はフードバンクかながわの取扱量に大きな変化があったことから、パルシステムとして積極的に取り組もうと夏と冬の年2回の計画をしています。また、もっと何かできないかと、各センターもしくは本部などの拠点に常設のフードドライブ回収コーナーの設置を進めています。この取り組みは理事や職員からの多くの声によってです。〈フードドライブといえパルシステム〉を合言葉に理事や職員一同で頑張っています。

第4回定時社員総会開催報告

公社フードバンクかながわは6月21日定時社員総会を開催し、第1号議案2020年度決算報告、第2号議案理事15名監事2名の専任を全員一致で承認した。その後の臨時理事会にて代表理事に當具伸一、吉坂義正、常務理事に半澤彰浩、渡邊たかしを選出した。新任理事は高橋英樹(労金)、新任監事は塩崎輝幸(こくみん共済COOP)。



吉坂代表理事・當具代表理事

プリマハムより常温ソーセージ32,000袋寄贈

